

稲井中

地域と絆強める伝統芸能



これがイチオシ

四季の自然感じて通学

稲井中学校の生徒は、豊かな自然の中で過ごしています。

多くの生徒が自転車通学です。春は暖かい風の中、花々の香りを感じながら走ります。夏は焼けるような日差しの中、セミの声を聞きながら。秋は黄金色に輝く稲穂がなびく中、コオロギの声を楽しみながら。冬は凜とした空気の中、雪化粧した木々の美しさを感じながらペダルをこぎます。

これからも四季折々の自然を肌で感じられる故郷 稲井での学校生活をみんなで仲良く楽しみます。

学校名 石巻市立稲井中学校
所在地 石巻市真野八の坪116
創立 1947年
電話 0225(91)2314
校長 菅原 栄治
生徒 173人

稲井中学校では、地域との関わりを大切にしています。特に伝承活動に力を入れており、学区内の伝統芸能の一つ「井内獅子舞」を受け継いでいます。井内獅子舞は、毎年10月に行われる文化祭で披露します。本番に向けて1〜3年生の有志25人が集まり、9月から昼休みや放課後などを使って練習を続けます。上級生が下級生に獅子の舞いやしの笛の吹き方、太鼓のたたき方を教えます。井内獅子舞保存会の方々に懇切丁寧に指導して

「井内獅子舞」保存に力
ただいています。本年度も1カ月間練習し成果を文化祭で発表できました。拍手に包まれ、とてもうれしかったです。昨年1月、老人ホームで舞う機会がありました。利用者や職員の方々に喜んでもらえて私たちが感動しました。地域との絆を強くすることができたと感じました。新型コロナウイルスの影響で、お正月に地域の方々へ披露できないのが寂しいです。早くお見せできる日が来るのを願って、稲井地区の伝統芸能を守っていきます。



井内獅子舞を披露する生徒たち

編集委員 茂木志歩、杉山紗彩、島田悠斗、佐藤秀忠(2年)
八木花、瀧口蒼志、鷹見菜ノ羽、山口芽那、遠藤夏、小野寺日向(1年)
指導教員 鈴木孝和、青沼祐輔、浅野敦智

わが校わがまち スクール通信



次回は 蛇田小(石巻市) 六郷中(仙台市)

心つなぐ元気なあいさつ

ゆりが丘小



これがイチオシ

ユリノキの葉モチーフ

ゆりが丘小学校には、「ゆりぼう」というマスコットキャラクターがいます。私たちのことを、校庭で毎日見守ってくれている大きなユリノキの葉がモチーフになっています。

ゆりぼうは、地域学校協働活動のマスコットの役割も担っています。見守りなどのボランティアをしてくださる地域の方々や保護者の方々と、私たちを結びつけてくれています。

私たちは、ユリノキとゆりぼうに見守られながら、みんなで楽しい学校生活を送っています。

学校名 名取市立ゆりが丘小学校
所在地 名取市ゆりが丘3の21
創立 1993年
電話 022(386)3225
校長 加藤 久美子
児童 335人

新たな活動で盛り上げ

ゆりが丘小学校では、計画委員会を中心に、全校で「あいさつ運動」に取り組んでいます。毎月8の付く日の朝は、計画委員が昇降口に立って、登校してきた人たちにあいさつをしています。相手が少しでも元気になってくれるように、思いを込めて明るく大きな声で呼びかけています。笑顔であいさつを返してくれる人が増えて、とてもうれしくなります。ますますやりがいを感じています。本年度は新たに「あいさつウイーク」を実施。「相手に伝わるあいさつ・自分からあいさつ・明るいあいさつ」をモットーに、できた人にはシールを渡し、昇降口のシートにクラスごとにまとめていきます。各学年の上手な一人は放送でも紹介します。1週間続けると、朝だけでなく廊下ですれ違った時も元気にあいさつし合う人たちが増えて、気持ちの良い学校になりました。これからも、すてきなあいさつと笑顔があふれる学校を目指して、みんなで活動を盛り上げていきたいと思っています。



「あいさつは心をつなぐ、おまじない」。活動に取り組む計画委員の子もたち

編集委員 匂坂伽耶奈、高橋信繁(6年)
指導教員 松川美来